事例No.	2012
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	和歌山県

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・消防・防災 ・ICT

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

青少年をネットトラブルから守る安全で安心な環境づくり

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

32 青少年をネットトラブルから守る安全で安心な環境づくり【和歌山県】

事業の概要

○ 和歌山県では、青少年が安全に安心してインターネットを利用する環境を整備するために、小中高生・保護者・教員等に向けた情報モラル講座やインターネットフォーラム、有害情報から青少年を守るネットパトロール、ネットトラブル相談窓口の運営などの取組を行っている。

○ 情報モラル講座は、主に学校現場で実施しているが、青少年育成に関わる団体などについても、地域からの要望に応じて開催している。

○ また、インターネットフォーラムについては、青少年のネット問題について、専門的知識のある有識者等を交え、青少年が地域の大人と意見交換しながら学ぶことで地域全体におけるネット問題に関する意識を高めていく狙いがある。



チラシ

【参考情報】 人口：94.5万人
関連URL：
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031400/seishounen/index.html（県HP）

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



近年、青少年のスマートフォン等のインターネット接続機器の利用が急速に進んでおり、多くの青少年がSNSを利用するなかで、自撮り被害やSNSに起因する誘拐事件が相次いで発生するなど、ネットを介した様々な犯罪に青少年が巻き込まれるケースが増加しております。

（和歌山県）

また、インターネット利用の低年齢化や長時間利用により、学力の低下や睡眠不足等、心身の健康や生活面に支障を来すネット依存傾向が青少年を中心に広がっており、社会問題となっております。

こうした現状を踏まえ、和歌山県では、青少年への情報モラル教育を徹底し、青少年がこのようなリスクに対する適切な対応を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えるため、情報モラル講座やわかやまネットフォーラムの開催、ネットパトロールやわかやまネットトラブル相談窓口の運営等、各種施策を実施しているところです。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか。



補助金等は活用しません。
県の事業費で運営しています。

★担当：和歌山県環境生活部県民局 青少年・男女共同参画課★

令和3年度事業費　10,438千円